

重点課題

【課題1】

「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」(設問1(二))
 ・文章を読み取り、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題があると考えられる。(正答率 60.6% 県 60.9% 全国 61.5%)

【課題2】

「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」(設問2(三))
 ・話し合いの話題や方向を捉え、具体的な自分の考えを適切に表現することに課題があると考えられる。(正答率 58.7% 県 62.7% 全国 60.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

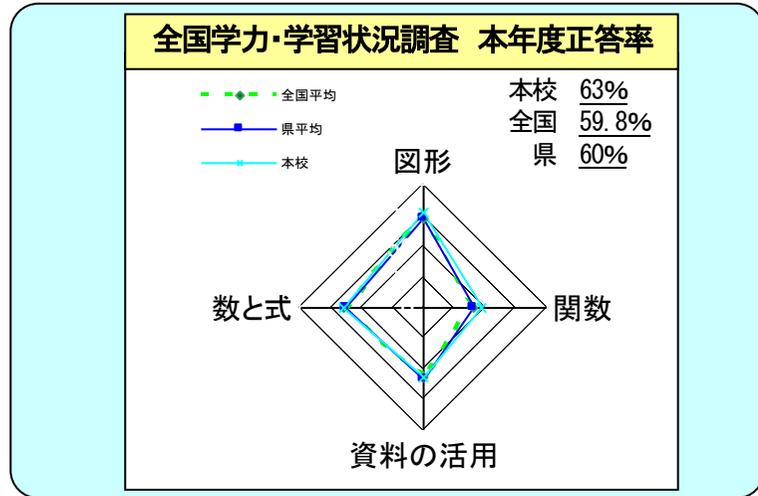
【課題1】文章の構成や展開を捉え、内容を的確に理解できるように生徒自身が目的意識をもって文章を読み、必要な情報を整理できるようにする。目的に応じて、中心となる語や文を捉えて、段落相互の関係や事実と意見との関係を読ませつつ、情報を取り出したり、必要な情報にたどり着けるよう検討させたりする指導を行う。
 【課題2】話題や方向を的確に捉え、自分の考えを持ちながら参加できるように、話し合いの話題について確認したり、経過を捉えたりしつつ、記録を取りながら話し合いを行うようにする。話し合いの途中で、それぞれの発言の仕方について確認したり、目指している話題の絞り込みについて考えたりするなど、話し合いの仕方を見直しながら進めるように指導する。
 ※ 小中一貫した取組については、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意し、話の構成を考えながら説明する機会を増やす。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 H31 全国学力(再)	3年生 期末試験		3年生 学年末試験		
目標値		65%	70%		75%		
実施後数値		70%	78%		83%		

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 H31 全国学力(再)	3年生 期末試験		3年生 学年末試験		
目標値		60%	65%		70%		
実施後数値		73%	82%		79%		

来年度に向けて

相手が最も伝えたい意見を意識させ、聞く姿勢を育てる。また、ペアやグループでの話す機会を増やし、話した内容をお互いに評価する活動を行っていく。



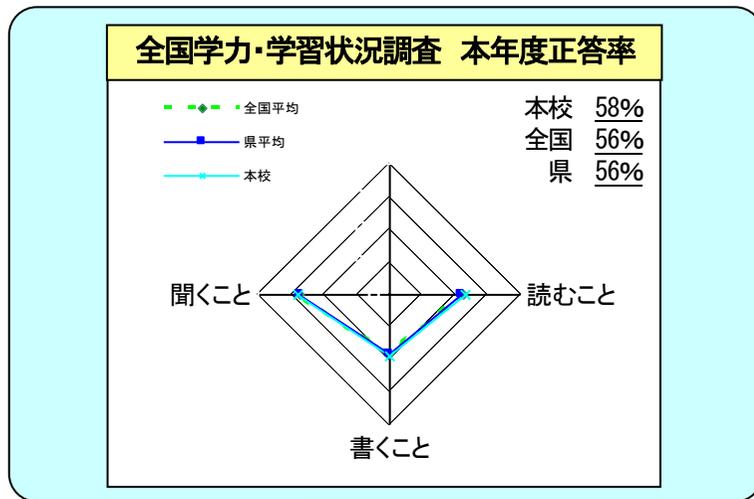
重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)
<p>【課題1】 数学用語の定義が理解できていない。 問題番号8(1) 通過率53.2% 県58.8% 全国57.9%</p> <p>【課題2】 資料の傾向を読み取る時、何を根拠にすればよいか理解できていない。 問題番号8(3) 通過率51.4% 県54.2% 全国53.6%</p>	<p>【課題1】 単元の学習が終わった時点で、授業で繰り返し学習する機会のない内容については、機会を設けて繰り返し学習する。</p> <p>【課題2】 日常的な資料をもとに、その傾向を読み取り、そう読み取った根拠を数学用語を使って説明するなどの活動を行う。</p> <p>※ 小中一貫した取組については、根拠を明らかにし、数学用語を使って説明する活動を増やす。</p>

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験	3年生 期末試験		3年生 学年末試験		
目標値		60%	65%		70%		
実施後数値		75%	85%		90%		

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験	3年生 期末試験		3年生 学年末試験		
目標値		55%	60%		65%		
実施後数値		75%	80%		71%		

来年度に向けて

用語の定義を理解させることと、それが何を意味するのかを考えさせていきたい。



重点課題

- 【課題1】** 聞いて把握した内容について、適切に応じる問題。
話し手の内容や意図を正しく理解できず、適切な応答を相手に返すことができていない。(問題番号4 正答率 6.4% 県 8.5% 全国 7.6%)
- 【課題2】** 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題。
考えやその理由が具体性に欠けていたり、文法事項等に誤りがあったりするなど、まとまりのある文章が書けていない。
(問題番号10 正答率 0.0% 県 1.4% 全国 1.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】【課題2】**
- ・まとまりのある文章を聞いたり読んだりして、話し手や書き手が求めていることや伝えようとしていることは何であるかを判断させながら、話の概要や要点を把握させる。
 - ・聞き取ったことや読み取ったこと、また、与えられたテーマに対する自分の考えや感想、賛否とその理由などを、話したり書いたりする活動を増やす。その際、話したり書いたりした内容に妥当性はあるか、適切な英語表現を使っているかなど、生徒同士で確認する活動を取り入れる。
- ※ 小中一貫した取組については、自分の考えを伝える場面を工夫し、積極的に伝えられるようにする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 期末試験		3年生 学年末試験	3年生 H31 全国学力(再)	
目標値			10%		15%	20%	
実施後数値			20%		25%	29%	

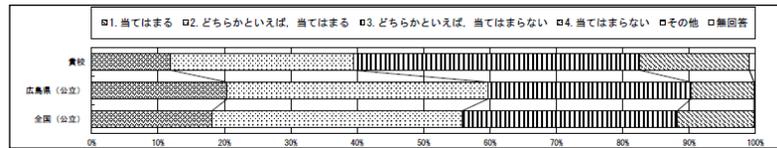
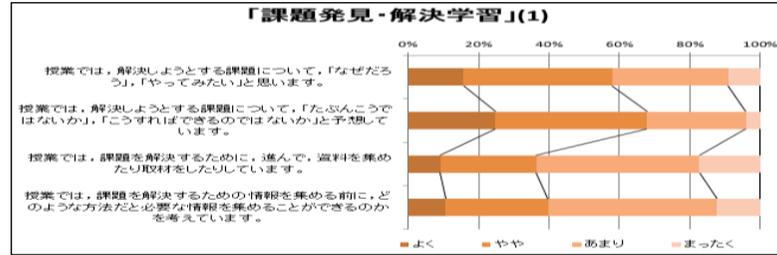
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 期末試験		3年生 学年末試験	3年生 H31 全国学力(再)	
目標値			10%		15%	20%	
実施後数値			8%		17%	19%	

来年度に向けて

話の内容や要点を把握させる活動、与えられたテーマに対する自分の考えや感想を理由とともに話したり書いたりする活動を充実させていく。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

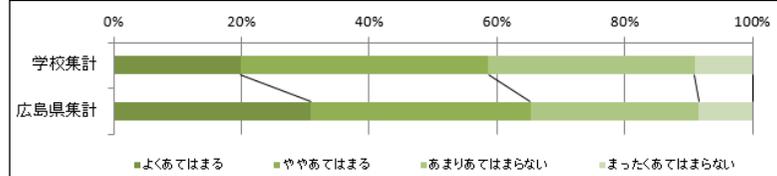
(1) 生活・学習



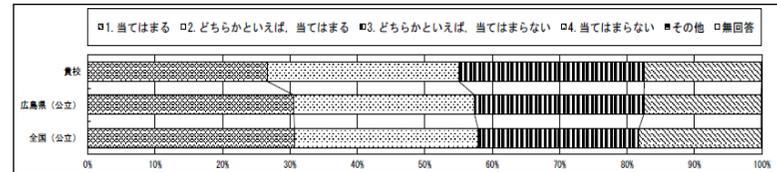
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
基礎・基本	授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。(本校 36.4% 県 42.0%)	小中一貫教育の集団的思考(プログラミング的思考)を活用し、新たな考えをもったり、自分の考えを深めたりするように取り組む。	2	45%	アンケート	2月	未実施
全国	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。(本校 39.4% 県 59.7% 全国 55.8%)	小中一貫教育の集団的思考(プログラミング的思考)を活用し、筋道立てて話したり、聞き手を意識し、反応を確かめながら発言したりするように取り組む。	3	50%	アンケート	1月末	65%

(2) 教科

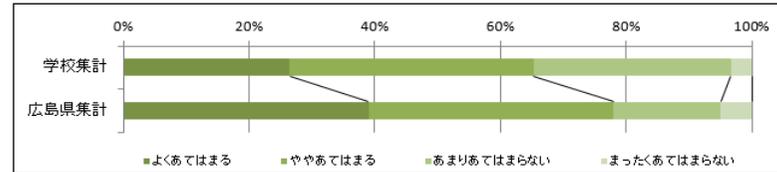
国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



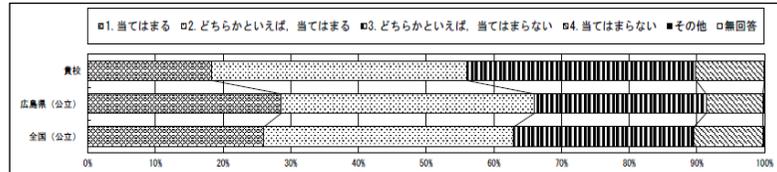
数学の勉強は好きですか。



理科の授業で、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。



1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	基礎・基本 国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。(本校 58.7% 県 65.3%)	授業の中で振り返りの時間を十分に確保し、生徒自身に発表させる。振り返りの項目を、授業によって適切に指定する。	2	70%	アンケート 振り返りシート	2月	未実施
	全国 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫しています。(本校 44.9% 県 69.6% 全国 64.4%)	授業中のあらゆる場で文章を書く時間をとり、うまく伝わるよう根拠などを示すなど、文章の組み立ての工夫を意識させて書かせ、その後、発表させる。	3	65%	アンケート	12月	66%
数学	基礎・基本 数学の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。(本校 66.1% 県 73.7%)	振り返り時間の確保と、振り返りを言葉にする活動を取り入れる。	2	70%	アンケート 振り返りシート	2月	未実施
	全国 数学の勉強は好きですか。(本校 55% 県 57.4% 全国 57.9%)	学習形態の工夫や、ICTの効果的な活用などにより、楽しいと感じる授業に改善する。	3	60%	アンケート	12月	58%
理科	基礎・基本 理科の授業では、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。(本校 65.2% 県 78.1%)	観察や実験の際、予想を元に条件を設定し、実験を計画できるような学習活取り入れる機会を設ける。	2	70%	アンケート	2月	未実施
英語	基礎・基本 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモをとったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。(本校 43% 県 56.5%)	・長文問題やリスニングを行う際には、メモをとりながら取り組むよう事前指導を徹底することで、メモをとる習慣を身につけさせる。 ・授業内で、聞いたり読んだりしたことに関する自分の感想や意見を、考え、交流する場を増やす。	2	60%	アンケート	2月	未実施
	全国 1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか。(本校 55.9% 県 66% 全国 62.9%)	生徒が関心をもつトピックを準備し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うペアトークやQ&Aなどを、帯活動で行う。	3	65%	アンケート	12月	67%